

令和4年度
夏季号



発行
公益財団法人
沖縄県交通遺児育成会
〒900-0027
沖縄県那覇市山下町18番26号
山下市街地住宅2階B-211号室
電話 (098) 987-0743
FAX (098) 987-0744
<http://okiko-iku.com>



令和4年度 定時評議員会



令和4年度 第1回理事会

付者の志に感謝し今後も当会への支援・協力の呼びかけを積極的に行っていきまます。理事会は役員8人(うち監事1人)が出席。定時評議員会は10人(うち理事長、監事2人)が出席しました。(2Pに役員紹介)

令和3年度の奨学・育成金給付は56人(前年度比17人減少)の535万8000円(同181万8000円減)、激励金は1人(同6人減)の2万円(同12万円減)でした。「賛助員寄付」、「学校募金」の受け入総額は1790万1591円(前年度比60万3638円増)でした。「団体寄付」「受贈品寄付」で減額しましたが、「個人寄付」、「賛助員寄付」、「学校募金寄付」、「ボックス募金」で増額しました。特にボックス募金はキャッシュレス決済の普及も高まり、硬貨は厄介もの扱いされつつも寄付額が3年連続伸びています。寄付者の志に感謝し今後も当会への支援・協力の呼びかけを積極的に行っていきまます。理事会は役員8人(うち監事1人)が出席。定時評議員会は10人(うち理事長、監事2人)が出席しました。(2Pに役員紹介)

公益財団法人沖縄県交通遺児育成会(森田明理事長)の令和4年度第1回理事会在5月27日、那覇市の産業支援センターで開催され令和3年度の事業報告・決算報告が審議、承認されました。また定時評議員会を6月22日に沖縄県ハイヤー・タクシー協会会館で開催し、当年度決算報告が審議、承認されました。

「令和4年度定時評議員会 第1回理事会を開催」

QRコードを作成しました

当会の概要や給付申請方法、ご支援のお願いなどを掲載した当会のホームページへとつながります。(PC版のため、多少見づらい部分もあります)

子どもたちの学業をサポートします!!
みなさんの周りに対象となるご家族はいませんか?



<http://www.okiko-iku.com/>

令和3年度第3回理事会在3月25日、沖縄県男女共同参画センター「ていりる」で開催され、令和4年度の事業計画書と予算書が承認されました。令和4年度も交通遺児のための給付支援事業、人材育成事業や給付金受け入れ事業の充実を図るとともに、積極的な広報活動を推し進めていくことを確認しました。



令和3年度 第3回理事会

令和4年度事業計画・予算を承認 令和3年度第3回理事会

初アリーナでのキングス観戦

琉球ダイハツ販売(株)(加藤憲志社長)からご招待いただいた「琉球ゴールデンキングス公式戦(4月17日・沖縄アリーナ)」を観戦したご家族から、迫力満点の試合内容や、沖縄市に新たに完成した「沖縄アリーナ」の様子など、興奮と感動でいっぱいの感想が寄せられました。

今回、初のアリーナでの観戦!とても楽しかったです。
負けの知らないキングスが、1点差で負けてしまいましたが、とても楽しい試合でした。子どもたちも目をキラキラと輝かせながら見ていたので、連れてこれてよかったと思っています。このような機会を与えてくださってありがとうございました。(中城村在住のご家族)



初アリーナへのキングスチケット、ありがとうございました。
とても悔しい1戦で、そして、とても、白熱した試合でした。
楽しい1日をありがとうございました。(沖縄市在住のご家族)



今回、初アリーナでのキングス観戦、とても楽しかったです!ありがとうございました。(南城市在住のご家族)

娘たちとの初アリーナ!!試合も会場もとてもすごくて、楽しい時間を過ごすことができました。本当にありがとうございました。
また機会があれば、ぜひ行きたいと思います。(中城村在住のご家族)

公益財団法人沖縄県交通遺児育成会

役員名簿

(令和4年6月22日現在)

評議員(10名)

- 親泊 一郎 株式会社琉球新報社元社長
- 野原 朝昌 沖縄県自動車販売協会会長
- 佐次田 朗 公益財団法人沖縄県トラック協会会長
- 小川 吾吉 一般社団法人沖縄県バス協会会長
- 東江 一成 一般社団法人沖縄県ハイヤー・タクシー協会会長
- 新・宮城 正明 公益財団法人沖縄県交通安全協会連合会専務理事
- 登野原 功 沖縄県軽自動車協会専務理事
- 下地 一彦 一般社団法人沖縄県指定自動車学校協会専務理事
- 與古田思好 一般社団法人沖縄県レンタカー協会専務理事
- 新・武元 清一 沖縄都市モノレール株式会社総務部長

理事(9名)

- 代表理事 森田 明 株式会社ラジオ沖縄取締役相談役
- 理事 新・金城 正樹 沖縄県高等学校長協会会長
- 新・半嶺 満 沖縄県教育委員会教育長
- 新・普久原 均 株式会社琉球新報社社長
- 新・船越 龍二 沖縄テレビ放送株式会社社長
- 武富 和彦 株式会社沖縄タイムス社長
- 中村 一彦 琉球放送株式会社社長
- 新・赤岩 勇二 日本放送協会沖縄放送局新局長
- 長濱 弘真 株式会社エフエム沖縄社長

監事(2名)

- 屋我嗣寿男 公益財団法人沖縄県交通遺児育成会元事務局長
- 平良 喜一 公益財団法人沖縄県緑化推進委員会理事長

※7月に副理事長選定の臨時理事会を予定しています (敬称略、順不同)

◆新事務局長に仲田国子氏



沖縄県交通遺児育成会の新事務局長に仲田国子氏が4月1日付で着任した。仲田氏は昭和34年生まれ。那覇市出身。昭和63年に琉球新報開発に入社。新報カルチャーセンター、保険事業部、事業企画部に勤め、令和3年8月に退職した。「昨年で交通遺児育成会は50周年を迎えました。歴史ある当会の事務局長を引き受けた事は身の引き締まる思いです。これからも交通遺児を励ます事業の充実や強化に努めてまいります。」と話した。

いつもご芳情ありがとうございます

～皆さまの善意に感謝します～

「交通遺児の育成にお役立て下さい」と県民の皆さまから贈られる温かい寄付金は、子どもたちの教育・学業の支援金として大きな支えとなっております。個人・団体寄付、職場募金や学校募金、ボックス募金などご支援いただいた皆さまに感謝いたします。

継続団体

**SDGsの二環として支援
役員からの募金20万円**

沖縄銀行（山城正保頭取）は2月4日、役員一同からの募金20万円を寄付した。育成会事務局を訪れた同行総合企画部総務グループ上席業務役の川田孝子さん（写真左）が「当行が取り組んでいるSDGs（持続可能な開発目標）の一環でもあります。子どもたちに学業を頑張らせていただけるよう役員一同の気持ちがかもついています」と記録を手渡した。



社会貢献事業として 県宅地建物取引業協会が7万円

県宅地建物取引業協会（知念聡会長）は1月31日、7万円を寄付した。同協会は毎年、社会貢献事業の一環として複数の団体へ寄付を行っている。

「将来ある遺児たちのために」 宜野湾市社交飲食業協会が10万円

宜野湾市社交飲食業協会（仲松友幸会長）は2月14日、10万円を寄付した。宜野湾市普天間の同協会事務局で川端勝彦副会長（写真左）とともに「コロナ禍で厳しい中、将来ある交通遺児たちのために活用してほしい」と寄付金を託した。



子どもたちのために20万円 りゅうぎんユイマール助成会

福祉や環境団体などを支援しているりゅうぎんユイマール助成会（島袋健運運営委員長）は2月9日、20万円を寄付した。育成会事務局を訪れた琉球銀行総合企画部長の島袋運営委員長（写真左）は「交通遺児支援は社会にとって必要なこと。子どもたちを思う役員一同の気持ちです」と寄付金を託した。

会員からの募金6万1000円寄付 県自動車整備振興会南部支部

県自動車整備振興会南部支部（大城優支部長）は2月8日、6万1000円を寄付した。育成会事務局を振興会のマスコット「てんけんくん」と訪れた大城支部長は「支部会員122修理工場からのカンパ金です。遺児らの学業支援に役立ててください」と寄付金を託した。写真は右から「てんけんくん」、大城支部長、比嘉晃副支部長、金城直也副支部長。



あなたの善意が交通遺児の心の支えに



「独り立ちする時まで支援したい」
全日本ロータス同友会支部が13万円

自動車整備工場23社が加盟する全日本ロータス同友会沖縄県支部（仲田裕治支部長＝写真中央）は2月17日、13万円を寄付した。宜野湾市の同支部で行われた贈呈式で仲田支部長は「自動車に携わる者として、子どもたちが独り立ちする時まで支えていきたい」と寄付金を託した。

「私も交通遺児でした」と寄付するま市の女性が100万円

2月24日、うるま市の匿名希望の女性から100万円が

「希望を持って頑張れるように」
沖縄バスと沖縄ふそう
自動車が11万5000円

沖縄バス（新川幹雄社長）は3月7日、社員と関連会社の沖縄ふそう自動車（與那覇明社長）からの募金11万5000円を寄付した。沖縄バスの外間達也総務部次長（写真左）と天久弘美観光部指導課長（同右）が育成会事務局を訪れ「子どもたちが夢を諦めることなく、希望を持って頑

「車業務に携わる協会として支援」
県自動車標板協会が20万円

ナンバープレート交付業務代行の県自動車標板協会（立津和弘理事長＝写真左）は3月8日、20万円を寄付した。育成会事務局を訪れた立津理事長は「自動車関連業務に携わる協会として、交通遺児らを支援していきたい」と寄付金を贈呈した。



寄付された。女性は「私も交通遺児として給付金をいただいていた。現在は余裕もでき、その当時の恩返しをしたい」と温かな言葉も寄せられた。張れるお手伝いができればうれしい」と寄付金を託した。

「進学などを支援したい」と寄付
安謝鋳物商事が25万円

安謝鋳物商事（仲宗根重人社長）は25万円を寄付した。3月1日に浦添市当山の同社で贈呈式が行われ、仲宗根社長（写真左）は「交通遺児たちの進学などを今後も支援したい」と寄付金を託した。「従業員も日々安全運転を心がけている。道路下など見えない部分の多い仕事だが、縁の下の力持ちとして子どもたちも支援したい」と話した故・仲宗根重幸会長の思いが受け継がれている。



「学業専念し、夢の実現を」
県4医療団体が79万余円寄付

県医師会、県歯科医師会、県薬剤師会、県看護協会の医療4団体は3月9日、79万1773円を寄付した。那覇市西のラジオ沖縄を訪れた県医師会の安里哲好会長は「県民の命と健康を守る医療団体として交通遺児の支援に取り組みたい。学業に専念し夢が実現することを願っています」と寄付金を手渡した。写真には、森田理事長（中央）に寄付金を贈呈する米須敦子県歯科医師会会長（右）、安里哲好県医師会会長（右から2人目）、前濱朋子県薬剤師会会長（左）、知念望県看護協会副会長（左から2人目）。



「少しずつだが支援したい」
読谷村の比嘉さんが5万円寄付

読谷村の比嘉美恵子さん（写真左）は3月16日、育成会事務局を訪れ「子どもたちの努力は本当に大変なものだと思う。少しずつだが支援していきたい」と寄付金5万円を手渡した。



飲酒運転根絶キャンペーンで寄付
沖縄テレビ放送が15万円

沖縄テレビ放送（船越龍二社長＝写真右）は3月24日、飲酒運転根絶キャンペーンの収益の一部として15万円を寄付した。那覇市西のラジオ沖縄で船越社長は「飲酒運転根絶キャンペーンは企業、団体の協力を得て放送している。もっと取り組みを強化したい。憂いなく子どもたちが頑張っているように、いくら



でも支えになれば」と森田理事長に寄付金を託した。

シオン幼稚園が9万7212円
「40年目のたまご献金」寄付

シオン幼稚園（宜野湾市、関根路代園長）は3月9日、9万7212円を寄付した。

寄付金は「シオンの丘のクリスマス」で、園児、保護者、教職員から募った「40年目のたまご献金」。



「若い人たちに役立てて」
宮昌工業が50万円寄付

建築、鉄骨製造の宮昌工業（宮城哲人社長）は3月28日、50万円を寄付した。宮城社長

「交通事故ゼロに取り組み」
浦添地域トラック組合が5万円

浦添地域トラック事業協同組合（金城強理事長、加盟7社）は3月29日、5万円を寄付した。育成会事務局を訪れた同組合の具志堅勇治理事（写真左）と具志堅全志監事（同右）は「金銭的理由で進学できない子が少しでも減るように微力ながら継続して力になりたい。これからも交通

ボックス募金を寄付
コーカスが4165円

コールセンターや石鹸販売などを営むコーカス（緒方教介社長）は3月29日、ボックス募金4165円を寄付した。育成会事務局を訪れた上原久美さん（写真右）、今井佑季さん（同左）は「募金箱を日頃から社員が利用する社内食堂に設置している。わず



かですがお役立てください」と募金を託した。

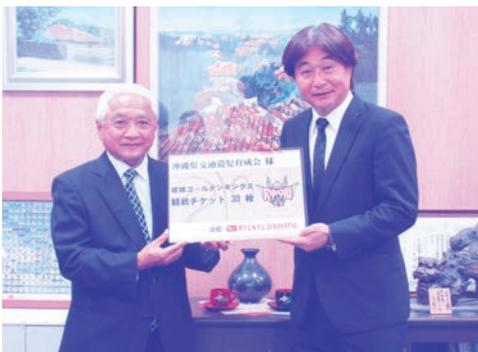


は「未来ある若い人たちに何らかの役に立てたらと思う。会社が利益を出している限りは、その一部で地域に貢献できれば」と話していた。

安全、交通事故ゼロ、飲酒運転根絶に取り組みたい」と浄財を託した。

キングス観戦チケットを寄贈
琉球ダイハツ販売が30枚

琉球ダイハツ販売（加藤憲志社長）は3月28日、琉球ゴールデンキングス公式観戦チケット30枚を寄贈した。同社はキングスのトップオフィシャルパートナー。贈呈式で加藤社長（写真右）は「キングスはバスケットで沖縄を元気にしている。子どもたちが少しでも元気になれるよう今後も観戦に招待したい」とチケットを贈呈した。沖縄アリーナ開催の同社の冠試合となる4月17日の観戦チケット。



「子どもたちの一助となれば」
県ホテル組合青年部が5万円

県ホテル旅館生活衛生同業組合青年部は4月12日、5万円を寄付した。育成会事務局を訪れた同組合の平良一部長（写真左）と嶺井周太担当（同右）は「子どもたちの一助となれば幸いです。支援は今後も継続していきたい」と話した。

「地域の皆様と支援」
JAおきなわSSが13万円余

JAおきなわSS（下地保造社長＝写真中央）は13万2826円を寄付した。5月30日に浦添市伊奈武瀬の同社で贈呈式が行われ、下地社長は「子どもたちが夢と希望をもてる明るい未来となるよう、今後も地域の皆様と一緒に支援を続けていきたい」と話した。同SSは給油した車1台ごとに売上金の一部を交通遺児支援に充てる活動を実施しており、令和3年度一年間の寄付金総額は58万3311円となる。



おきなわフィナンシャル
グループが招待
「スポーツの楽しさを
感じてもらえる機会に」

株式会社おきなわフィナンシャルグループ（山城正保社長）は5月10日、プロ野球公式戦チケット40枚を寄付した。同社総合企画部の鈴木涼子調査役（写真右）は「子どもたちが将来の夢を抱き、スポーツの楽しさを感じてもらう機会になれば幸いです」と話した。試合は5月17日、18日の両日、沖縄セルラースタジアム那覇で開催された西武対ソフトバンク戦。



「学業支援に役立てて」
パイオニアが200万円

大阪に本社を置くパイオニア（片田富穂社長）は4月15日、200万円を寄付した。安村健栄取締役会長（写真中央）と沖縄営業所長の坂田初則さん（同右）が4月15日、那覇市西のラジオ沖縄を訪れ「沖縄営業所を開設した年から寄付を行っている。子どもたちの学業支援に役立てて」と話し、森田理事長へ寄付金を託した。

創立50周年記念寄付
琉球リースが50万円

株式会社琉球リース（中川通男社長＝写真右）は5月18日、同社創立50周年を記念して50万円を寄付した。那覇市西のラジオ沖縄を松原知之会長（写真中央）らと訪れ、「社会貢献の一環でもある。交通遺児の育成に役立ててほしい」と、森田理事長へ寄付金を託した。

変わらぬご支援ご協力を賜り、誠にありがとうございます。



ボックスデビュー

養生の里

豊見城市の介護老人保健施設「養生の里」(上原勝彦理事長)は3月8日、職場募金用に交通遺児育成会の募金ボックス4個を設置した。

上原理事長は「以前から交通遺児支援の寄付を考えていたが、広報誌を見て募金ボックスを設置して職員に協力してもらおうと考えた。デイケア、デイサービス施設もあるので、各職場にボックスを設置して募金を呼び掛けた」と話した。



新たに募金ボックスを設置していただいた「養生の里」の職員ら = 3月8日、豊見城市

子どもたちを応援しませんか??

募金ボックス編

募金ボックスを設置していただける事業所を募集しています!!

近年、オンライン決済等の普及により、現金を持ち歩かない人も増えてきたのではないのでしょうか。

しかし!! 現在も銀行や給油所、さまざまな事業所が募金ボックスの設置にご協力いただき、毎年多くの募金が寄せられています。

「小銭が余ったから」「少しだけ子どもたちへ寄付したい」「従業員で毎日募金しています」など、コツコツと寄せられる温かな善意が子どもたちを応援しています。

また、募金ボックスを設置することで交通安全に対する意識も高まり、交通事故の防止にもつながります。大切なご家族や仲間の安全祈願を込め、設置のご協力をお願いします。お気軽にお電話ください。

その他、チャリティーやバザーなど、イベント会場への貸し出しも行っています。



募金箱サイズ:
縦10cm、横20cm、高さ13cm

賛助会員編

賛助会員の協力団体・個人を随時募集しています。

賛助金は、入会費や年会費といったものでなく、全てご厚意によるものとなっています。金額や振込期間の定めはございません。皆さまのご協力を心よりお待ちしております。

※当会は税制上の特定公益増進法人の認定を受けた団体です。※

一般(団体や個人)寄付、賛助員寄付、職場募金、各事業所設置の募金ボックス寄付等から寄せられる大切なお金は、交通遺児育成事業費として活用されます。

当会への貴重なご寄付は、所得税、一部自治体の個人住民税、相続税及び法人税の控除対象となります。ご申告の際は、最寄りの税務署へお問い合わせください。

★寄附金・賛助会費等の振込口座

☆振込み期間: 随時受け付け(期間の定めなし)

☆振込み方法: 下記金融機関窓口指定振込用紙使用(※振込手数料が免除となっているため、当会指定の振込用紙はございません。)

口座名義人: **公益財団法人 沖縄県交通遺児育成会**

金融機関名	支店名	口座番号
琉球銀行	県庁出張所	(普) 65052
沖縄銀行	県庁出張所	(普) 890433
沖縄海邦銀行	県庁内出張所	(普) 4689

金融機関名	支店名	口座番号
コザ信用金庫	那覇支店	(普) 2000718
沖縄県農業協同組合	本店	(普) 0002331

いつもご芳情ありがとうございます

